

F60ENDURANCE



規則書 2026年1月改訂

F.ドリーム平塚は、皆様にカートのレースをお楽しみ頂きたい。と、願いを込めて レースイベントを開催しております。レースイベントは、参加される皆様に「競い合うこと」の出来る「舞台」を提供し、安全に「モータースポーツの楽しさ・おもしろさ」「スリル・スピード感」「レーシングドライブ」を身近に体験していただくために開催されます。ルールやマナーを守るということは大切な事です。レースイベントは F.ドリーム平塚の定めるレース規則書に基づいて開催されます。レースは「ゲーム」であり、「遊び」であるということを知り出来る方、心身共に健康な方、勝敗よりも「安全」と「楽しさ」を追求出来る方、遊び心を十分に持ち合わせている方、「怒ってはならない」ことを守れる方ならどなたでも参加できます。レースイベントは「楽しくレースをしよう」をスローガンとして開催されます。順位よりもレースを楽しめた方が真の勝利者となるはずで、参加者の皆様には互いに切磋琢磨し交流を深め、カートライフがすばらしいものとなれば幸いです。

1. 参加資格について

- 規則書を理解し守れる方。
- 運転免許やカートライセンス等は必要ありません。満 18 歳未満の方は保護者の同伴が必要です。
- 参加者は、自分の行動や他の参加者・応援団等の行動について責任を持てる方に限ります。
- マナーを守れる方に限ります。イベント参加にふさわしくない方（レベルが合わない、ルールを守らない、マナーが悪い、他人に迷惑をかける方等）は、参加をお断りする場合があります。
- F.ドリーム平塚が参加を認めた方。
- F.ドリーム平塚で大人用カート走行経験がある方でおかつ 36.999 秒以下で走行できる方。
→所属サーキットがF.ドリーム平塚以外で、2026 年以内に全国の SWS 対象イベントに 1 回以上出走記録があるチームはこの限りではない。
- 1 チーム 2 名～の参加とします。

2. 予約方法について

SWS (Sodi World Series) から、またはホームページイベントニュース内専用フォームから定員 10 チーム、1 チーム料金 ¥18,000- **※事前予約のみ、当日参加不可**
無断キャンセルはエントリーフィの全額をいただきます。

3. タイムスケジュール

08:30~09:30	受付開始・体重計測
09:30~10:00	ドライバースミーティング・車両抽選
10:10~10:50	練習兼予選走行 40 分間 (予選走行は後半 5 分間のみ)
10:50~11:00	予選結果発表
11:15~11:25	走行準備・フォーメーションラップ
11:30~12:30	決勝耐久レース 60 分間
12:40~13:00	結果発表・表彰式

※参加申込、お支払い、体重計測が済んだチームから 1 階 PIT へ移動できます

4. ドライバースミーティング及び表彰式について

当日の流れや、規則書の確認を行います。時間厳守・私語は謹んでご参加いただきますようお願いいたします。またイベントに参加する際には、必ず規則書の一読をお願いいたします。表彰式においても必ずご参加いただきますようお願いいたします。

5. ドライバーの装備品について

- シールド付きフルフェイスヘルメットの着用が義務 (レンタルのご用意があります)
- 滑り止め付きグローブの着用が義務 (軍手可、店頭販売あり)
- 長袖長ズボンの着用が義務、レーシングスーツ・つなぎ等を推奨します。
長袖の袖まくりは禁止です。
- 運動靴、スニーカー等の運転に適した靴の着用が義務
- 雨天が予想される場合レインコート及び雨具をご持参ください。上着の丈が長いものは使用できません。レインコート及び雨具のレンタルはありません。

6. ウェイトの搭載について

全てのドライバーは走行毎に装備品込みの状態でも 80.0kg 以上になるよう練習兼予選走行、決勝レース共にウェイトを搭載してください。ウェイトは最大 30kg までとなります。受付時に計測した体重を元に、それぞれのドライバーに搭載ウェイトを記載した腕章を配布いたします。配布した腕章は、左腕に装着してください。

- ドライバーチェンジの際に、80.0kg になるようにご自身でウェイトの搭載をお願いいたします。搭載後はスタッフが確認を行います。
- 女性の方は一律 60kg 換算いたします。計測希望の方は受付時にお申し出ください。
- 前戦にて表彰台に乗ったチームに女性がいる場合、次戦参加時に +5kg の追加ウェイトを搭載しま

す。+5kgの追加ウェイトで再度表彰台に乗った場合、その次のレースでは+10kgのウェイトを搭載します。（※計量なしドライバーに限る）

- ドライバー装備品込みの計量になります。（ヘルメット、リブプロテクター、グローブ等含む）
- 装備品以外のウェイトは計量の対象外となります。（自作シートクッションは計量対象外）
- 不正行為が確認された場合は当該レース失格となります。

7. 無線通信機の使用について

携帯電話、スマートウォッチ、各種無線機器を使用しての走行中のドライバーとの通信が可能です。またスマートフォンを用いた走行中のライブタイミングの確認も可能です。ただし、①テープ類を用いず脱着が可能なこと、②走行中の脱落を防ぐことの2点を必須とします。

8. 練習兼予選走行

40分間の練習兼予選走行です。前半35分間を練習走行、後半5分間を予選走行とします。予選走行開始の合図は、ホームストレートコントロールラインでグリーンフラッグを提示します。車両抽選で決まった車両で走行します。ピットでのドライバーチェンジ枠は5台（カート交換用指定エリア含む）まで、6台目以降は前の車両が動くまでピットロード中央ストップラインでお待ちください。各チーム、ピットロード中央のストップラインでは必ず一時停止をお願いします。練習走行の間は規定時間のピットストップをせず、ドライバーチェンジが可能です。

9. 決勝レース60分耐久

時間内の走行周回数とゴールラインの通過順序で順位を決定します。フォーメーションラップの後、スタートは原則的にグリッドスタートで行います。シグナルはレッドシグナルが全て点灯した後、レッドシグナルが消えたらスタートです。競技終了の合図はチェッカー旗で合図されます。チェッカー旗が振られている時にコントロールラインを通過した車両は減速し、低速走行しながらピットに戻りオフィシャルの誘導に従ってください。また、規定された時間を経過しても、チェッカー旗が表示されるまでは競技終了となりません。レース終了後、入賞した上位3チームに関しては、ドライバー重量計測を行います。当日搭載ウェイトを準備後、ウェイトを持った状態で体重計測を行ってください。

●ドライバー交代・ピットインについて

ピットイン毎に車両及びドライバーの交代が義務となります。決勝では2回以上のピットインが必要となります。ピットインした際は60秒間のピットストップとなり、タイマースタートは車両がドライバー交代枠に停車してからスタッフが行います。ウェイト、ゼッケン、トランスポンダーを外し前方の車両に取り付けてください。トランスポンダーの装着はロックピンを奥まで差し込み確実に行ってください。決勝レース時はピットロードドライバー交代枠（1箇所）以外のドライバー交代はできません。枠がいっぱいの場合、前方の車両が走行を開始するまでは交代枠後方で停止してください。この時後方で停止している車両は、シートベルトを外す行為やウェイトボックスに手をかけるなどの時間を短縮する行為は禁止です。後方に車両が停止している状態で前方の車両が60秒以上停車している場合、オフィシャルの指示で前方に車両を移動する場合があります。（この時、後方車両の走行妨害として前方の車

両にはペナルティを科す場合があります。) 決勝レース中はストップラインを超えたピット右側(進行方向に対し)は、原則クローズとなります。通過可能車両はペナルティの対象となった車両やスペアカーに乗り換えなどのオフィシャルが右側通行を許可した車両のみとなり、オフィシャルが通過を認めていない車両に関してはペナルティの対象となります。ピットはレース終了 10 分前にクローズします。

●競技中のドライバー交代について

- ・ドライバーは第 2ヘアピン通過後、後方を確認しコースの左寄りを走行してください。
- ・ピットロード入口手前約 20m 付近より片手を高く挙げ減速し、後続の車両にピットインする合図をしてください。
- ・ピットロード入口 10m 前からの車線変更は危険ですのでおやめください。
- ・ピットロード中央のストップラインで必ず一時停止し、その後ドライバー交代枠まで走行し枠内に停車してから降車してください。この時エンジンは停止せずそのまま降車してください。
- ・ドライバー交代枠はピットロード出口寄りの枠から使用し、そこに他の車両が停止していればその後方の枠を使用してください。(※練習兼予選走行に限る)
- ・すぐに走行を再開しないチームはドライバー交代枠に車両を停止したままにせず、オフィシャルに声をかけ指示に従ってください。
- ・交代するドライバーは走行準備をして車両に乗車してください。走行姿勢が整ってから、ピットロード内の安全を確認し(特に後方右側)走行を開始してください。ピットロードは右側車線優先です。尚、発進する際にチームは車両を押ししたり引いたりして発進のサポートをすることは禁止です。
- ・ピットロード出口よりコースに合流する際は、停止線直前で必ず停止してください。安全を確認し、片手を高く挙げコース上を走行する車両にコースインの合図をしてください。コース上を走行する車両を優先とし、その進路を妨げてはいけません。
- ・ピットロードドライブスルーの際、ドライバー交代は禁止です。

●走行時間について

各ドライバー1回の最低走行時間は10分以上となります。上記ルールに違反した場合はペナルティの対象となります。

10. フルコーションイエローについて

予選、又はレース中にトラブルが起こった場合、各ポストのイエローフラッグと共に全車一斉にリモートコントロールによりエンジンリミッターが掛かります。この際前方カートとの順位は変えずにご走行下さい。マシントラブルによりエンジンリミッターが作動しない場合であっても前の車両の順位を変えずにご走行下さい。トラブルが解決した段階でトップ車両がコントロールラインを通過する段階から全車リミッターを解除致します。後続車両はコントロールラインのグリーンフラッグを通過する前に前方車両の追い越しはしないようにご走行下さい。

11. レッドフラッグによるイベントの中断について

何らかのトラブル（天候の悪化、計測不具合、など）により走行を止める必要があると判断した場合、各ポスのレッドフラッグと共に全車一斉にリモートコントロールによりエンジンリミッターが掛かります。この際走行しているドライバーは徐行し、オフィシャルの誘導に従ってください。

●状況によってセッションまたは決勝レースを短縮、中止する場合があります。

●決勝レースについてはレース時間の80%を超え、再スタートができないと判断した場合はレース成立とします。レース中断の合図が出された1周前の周回から、残りのピット回数分は5周減算で計算し公式結果とします。

●決勝レースを再スタートするもレース時間の50%に満たないと判断した場合はイベントを延期、または中止します。エントリーフィについては、レース消化時間の割合によって、未消化時間分の料金は参加者に返金するものとします。

12. ペナルティ及び失格について

耐久レース規則違反、各走行で行われた危険な行為に対してオフィシャルが判断し、ペナルティもしくは失格をドライバーに提示する事がございます。

●耐久レース規則違反

ピットイン回数義務違反

→1回につき10周減算

走行時間違反

→10分未満・・・ドライブスルーペナルティ

重量違反（80.0kg未滿）

→チームの違反ドライバー数1名・・・10周減算

→チームの違反ドライバー数2名以上・・・失格

ピットロード中央及びピットロード出口一時停止違反

→1回につきドライブスルーペナルティ

ドライバー交代義務違反（続けて同じドライバーが走行した場合）

→1回につき10周減算

60秒ピットストップ違反

→60秒経過前に発進した場合ドライブスルーペナルティ

ピットロード右側（進行方向に対し）通行違反

→1回につき10周減算

ダブルチェッカー

→練習兼予選・・・当該セッションの走行タイム抹消

→決勝・・・1回につき10周減算

●マナー違反（オフィシャルの判断による）

●過度なブロック、プッシング、走路妨害

※ブロックラインの規制について

後方を確認したうえで故意に進路変更をする行為、直線区間で左右への2回以上の進路変更、数周にわたってのブロックラインを走行する消極的な走行、そのほかスポーツマンシップに反すると判断した場合は警告やペナルティの対象となります。

●コースショートカット

※やむをえない場合であってもペナルティの対象となります。

※グリーンゾーン進入時一時停止した場合は、ペナルティの対象にはなりません。

※コースタイヤバリヤに何回もあたる行為に関しても、故意なコース外走行とみなしペナルティの対象となります。

●ピットロードでの激しいカート接触・追突

●コース上での急停止・急減速

●フライング（ドライブスルーペナルティを科します）

●フラッグ無視

●装備品不良

●決勝レースグリッドスタート時故意にアクセルを煽る行為は警告またはペナルティの対象とします。

●走行中のアクセルワイヤーの操作は危険防止の観点から警告またはペナルティの対象とします。

●上記以外の危険行為、安全運転義務違反

失格は次の反則行為に科せられ、チーム関係者全員が対象となります。レース終了後も適用されます。

●イベントの雰囲気壊す行為（怒る、怒鳴るなど）

●他の参加者の安全を省みず行った危険行為

●オフィシャルの指示を故意的に無視した場合

●ペナルティにあたる行為を繰り返した場合

●タイヤを蹴る、地面を押すなどスタートを援助するまたは援助していると判断される行為（スタート後の飛び跳ねるような行為に関してはペナルティを取りません。）

●以上の行為や他の参加者に迷惑をかける行為や本大会を非難する暴言（カートをぶつける、壊す等）があった場合

●不当にアドバンテージを得てレースに参加した場合

●ペナルティを同一チームで5回以上受けた場合

●その他、オフィシャルが悪質と判断した行為をした場合

※ペナルティに関する抗議について、レース中の口頭による抗議は一切認めないものとします。

13. 車両修復・スペアカーについて

イベント中の接触、クラッシュ、アクシデントにより、車両が破損、故障してしまった場合、原則的にその車両のチームはリタイアとなります。ただし、軽度の破損、故障や救済措置が必要とオフィシャルが判断した場合は、車両修復、スペアカーによりこれを改善する事ができるものとし、規定のウェイトを搭載して再スタートとします。

14. 諸注意

- 喫煙は所定の場所をお願いします。
- 参加者は、自身の行動は勿論、自身のチームのドライバー・ピットクルー・ゲスト・応援団など、全員の行動についても責任を取らなければなりません。
- イベント開催中、またはその前後で起きたドライバー、ピットクルー、ゲスト・応援団などの損害は自らが負うものとします。
- 参加者の責任により発生した事故及び車両の損害は、全て各チームの責任となります。(当該チームが修理代全額負担頂きます)
- イベント開催中、他のチームの車両と接触し自身のチームの車両が破損した場合でも、その責任は自分にあるものとし、他のチーム・ドライバーを絶対に非難してはなりません。この事を踏まえ、各自責任を持って参加してください。
- イベント開催中はオフィシャルの指示に従ってください。
- 本イベントで発生した事故において、主催者・サーキットオーナー・運営スタッフは損害などの一切の責任、損害賠償の義務を免除されるものとします。即ち、主催者・サーキットオーナー・運営スタッフは、その職務に最善を尽くすことは勿論ですが、競技中に起きた、ドライバー・ピットクルー・ゲスト・応援団などの負傷、車両などの損害に対して、一切の保証責任を無い事を参加者は承知してください。
- スピン・クラッシュ等によりコース内で車両が停止した場合、ドライバーは片手を高く挙げ、停止している事を後続の車両に合図してください。後続の車両が途切れるまでは片手を挙げ続け、コース上を走行する後続の車両が途切れてからコースに復帰してください。万が一自走ができなくなった場合はオフィシャルの指示に従ってください。
- 走行中、ドライバーが安全に走行できないと判断した場合や、車両に異常が発生した場合、片手を高く挙げ、減速する事を後続の車両に合図してください。同時に速やかに減速し、他の車両の走行の妨げにならないように低速で走行してピットインしてください。
- 走行中オフィシャルの指示以外でコースショートカットを行う事は禁止です。
- 走行中コース上を2台以上で並走するような場合、双方とも相手車両のラインを必ず1台分残してください。
- 走行中故意に、2台以上の編隊を組んで走行してはいけません。

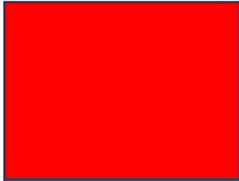
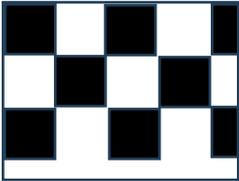
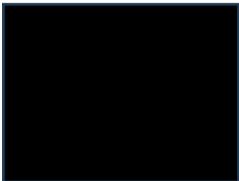
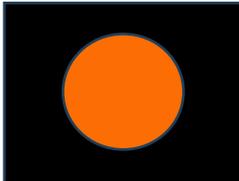
15. シリーズポイント

順位に応じて、SWS シリーズポイントを付与します。

※レースに参加されている方の内、SWS の登録が5チーム以下の場合、SWS 対象レースとしては不成立なり、SWS ポイントは加算されません。

SWS HP <https://www.sodiwseries.com/ja-jp/>

各種信号旗について

<p>黄旗</p> 	<p>青旗</p> 	<p>赤旗</p> 	<p>チェッカー旗</p> 	<p>黒旗</p> 
<p>前方注意 追い越し禁止の旗</p>	<p>後方から早い車両あり、進路を譲ってください。</p>	<p>走行中断 最徐行の上、ピットイン</p>	<p>協議終了の合図 速度を落とし、ピットイン</p>	<p>ペナルティ ナンバーボードと同時に掲示。レース終了後競技長の元まで来てください</p>
<p>白黒旗</p> 	<p>グリーンフラッグ</p> 	<p>オレンジボール</p> 		
<p>警告 軽度のペナルティ ナンバーボードと同時に掲示。</p>	<p>競技開始・再開</p>	<p>装備不良 車両不良 ピットインシオフィシャルの指示に従ってください。</p>		